



## 主要な農作物の生育情報

平成22年度 第11号

(平成23年2月4日)

福島県農林水産部研究技術室



### 【野菜】

#### 1 イチゴ

県北地方では、現在、促成栽培（夜冷育苗）で頂果房の収穫がほぼ終了し、1次えき果房が肥大～着色期にあります。促成栽培（ポット育苗）では、頂果房が収穫中で1次えき果房は肥大期となっています。いずれも生育は平年と比べ遅れ、1次えき果房の生育にばらつきが見られます。

うどんこ病やハダニ類など、病害虫の発生は少ない傾向にあります。

須賀川地方の促成栽培（夜冷育苗）は、現在、第1次えき果房の肥大期～収穫始期にあります。促成栽培（ポット育苗）は、1次えき果房で着色始めとなっています。いずれも1次えき果房の出蕾にばらつきがあり、生育は平年と比べ遅れています。

病害虫ではうどんこ病、コナジラミ類の発生が見られます。

いわき地方の促成栽培（夜冷育苗）は、現在、1次えき果房を収穫中です。低温の影響で着色が遅れており、2次えき花房の生育も遅れています。

害虫ではハダニ類の発生が見られます。

#### 2 ニラ

須賀川地方では、10月20日前後に被覆を開始した2年株で、3番刈りを終了しています。11月上旬に被覆を開始した1年株は、2番刈りを終了しています。高温・乾燥の影響で、葉幅がやや狭い傾向にあります。また、病害では白斑葉枯病が散見されます。

#### 3 シュンギク

県北地方のハウス栽培は、10月上旬定植の圃場で2次側枝以降を収穫中です。病害では葉枯細菌病の発生が散見されます。

相双地方のハウス栽培は、10月上旬定植の圃場で3次側枝以降を収穫中です。

いずれの地方も低温の影響で、生育は遅れています。

### 【花き】

#### 枝物花木

県中地方のサクラの出荷は、1月上旬から順調に行なわれています。

ハナモモは、県中地方で2月上旬、県北地方では2月中旬から出荷が始まる見込みです。

須賀川地方では、ユキヤナギの株入れ促成栽培による出荷が最盛期を迎えています。なお、出荷は3月下旬まで続きます。

病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/fappi/index.html>）等を活用し、適切に対応してください。

発行：福島県農林水産部研究技術室 TEL(024)521-7336

<http://www.pref.fukushima.jp/keieishien/kenkyuukaihatu/gijyutsufukyuu/seiikugijyutsujyohou.html>